# 学生会だより

## 平成19年度「メカライフの世界」展を終えて（関西学生会）

今日における青少年の理工系離れは机上の理論の理解のみで，実際に「もの」に触れる機会が少ないことなどが原因であり，この理工系離れの状況改善のためには，科学技術への理解と関心を小・中学生を中心として，広く一般の方々が持つことが必要だと考えている．そこで関西学生会ではさまざまな物理現象の実演・体験や，さまざまな機械で楽しく遊ぶことを通して広く科学への興味を持ってもらう機会を社会へ提供することを目的として，2007年11月17日(土)18日(日)「メカライフの世界」展を開催し，2007年度で14回目を迎えた．会場は2006年度まで大阪であったが，2007年度は神戸のポートアイランドにある神戸市立青少年科学館共催のもと，展示スペースをお借りした．また18日には同会場において神戸ロボットスクールによるロボットコンテストも同時開催されるという新しい試みも行った．

「メカライフの世界」展の計画は，4月から毎月一回開催されている運営委員会で，各大学にそれぞれの役割分担を割り当て，幹事の先生，各大学の学生会委員とディスカッションを行い，関係者一丸となり進めてきた．また計画を進める際，2006年度のイベント経験者の助言を頂き，大変参考になった．

出展物は，形状記憶合金や機械模型，空気砲などといった小・中学生が興味を持ち，原理がわかりやすい機器の展示や，手作りのホバークラフトやフォーミュラカーの体験試乗に加え，レスキューロボットの実演を行い，科学技術や機械工学の不思議さや楽しさを実際に体験できるものを各大学から出展した．また，昨年度に続き工作コーナを設け，お客様に実際にものづくりの楽しさを感じていただくため，有料キットとして市販の電子工作キットを1コイン100円で提供し，またより多くの工作体験をしていただくために，無料のものづくり体験コーナを設け，回転しながら飛ぶくるくるロケット，電車や昆虫のペーパクラフトの工作物を用意した．

初の神戸での開催ということもあり，たくさんのお客様に来ていただけるか非常に不安であったが，結果的に838名の大勢の方々に来ていただいた．また小・中学生だけでなく保護者の方にも展示物を熱心に見ていただき（**図1**），学生員に熱心に質問される方もいた．工作コーナにおいても，有料工作コーナ・無料工作コーナともに2007年度も好評で，とくに有料工作コーナでは朝の一部の時間帯を除いてすべての工作ブースが休みなく稼動した．（**図2**）

配布したアンケートにも多くの方が記入いただき，来場者の方々から貴重な意見を伺うことができた．アンケートの内容の中には，非常に楽しかったという意見が大半であったが，中には改善点を指摘する厳しい意見もあった．これらの貴重な意見と準備を行っていくうえで得た反省点を一つ一つ改善し，今後の「メカライフの世界」展がさらに発展することを願う．

**図1　展示コーナ**
2007年度「メカライフの世界」展の展示コーナ

**図2　工作コーナ**
2007年度「メカライフの世界」展の工作コーナ

今回，「メカライフの世界」展運営委員長として本イベントを運営するにあたり，さまざまな困難があった．しかし当日展示物に顔を近づけ，原理について真剣に考えている子どもたちや，自分で作った工作物を親に自慢する子どもたちの姿を見ると，そういった辛かった記憶はすべて仲間とともに乗り越えてきた良き思い出となった．『「メカライフの世界」展を成功させる』という一つの目標に向かって他大学の運営委員と協力しながら企画・運営し，「メカライフの世界」展を開催することができたことは，今後の学生生活，社会生活において貴重な経験になると思う．

最後に，学生会担当幹事の先生方，委員長をはじめとする各大学の運営委員の方，神戸市立青少年科学館のスタッフの方，（社）日本機械学会関西支部事務局の方など，多くの方々のご協力なしでは，「メカライフの世界」展を無事に開催することができなかった．この場をお借りして御礼申し上げる．

〔奥　圭介　神戸大学大学院　工学研究科　機械工学専攻修士1年〕